

# 強者の戦略

【列強に圧迫されるアジアの問題です】

生姜紅茶の恋しい季節になってきました、こんにちは、世界史の北林です。紅茶に擦った紅茶を入れる、それだけで身体がほこほこになるのですが、北林の場合はお湯を沸かすところに生姜を投入し、煮出すところからはじめます。生姜は生で食べるとジンゲロールという物質が殺菌などで効果を発揮します。生の料理に擦った生姜が薬味でついているのはそのためですね。ちなみに風邪対策に効果があります。ジンゲロールは加熱するとショウガオールという物質になり、身体を温めます。冷え性対策にはもってこいです。スライスした生姜を1日天日で干して、それを生姜紅茶に使うと効果がぐっとあがります。よかったら試してみてください。

なんだか出だしがNHKの「ためして●ッテン」みたいになってしまいました。とにかく受験生は、これから体調管理を万全にしてくださいね。

さていつものようにスパルタンの案内も載せておきます。2014年の「東大スパルタン」「京大スパルタン」「医学部スパルタン」はライブの授業が終了いたしました。センター試験対策に全力を挙げる時期が終わったら、スパルタンで一気に二次対策の復習を試してみるのも一つの方法です。

高2の皆さんは「高2スパルタン〈チャレンジターム〉」で、今だからできる受験対策にチャレンジしてください。4月と9月にあった高3の体験授業をオンデマンドで見ることができます(無料)。一度HPまで来てくださいね！ →ホームページはこちら [spartan.kenshinkan.net](http://spartan.kenshinkan.net)

では毎度おなじみの入試問題へのチャレンジです。研伸館の冬期講習で高3生は「東大京大論述世界史」を受講していますが、そこで京都大学 2005 年の中東の問題を扱いました。授業で扱った問題の一部紹介になりますね。授業を受けてない方にも一度チャレンジしてもらいたいと思います。

## 問題

16世紀以来、オスマン帝国領であった中東アラブ地域のうち、エジプトやクウェートは19世紀末までに英国の保護下に置かれ、第一次世界大戦後、残りの地域も英仏両国により委任統治領として分割された。やがて諸国家が旧宗主国の勢力下に独立し、ついにはその勢力圏から完全に離脱するにいたった。1910年代から1950年代までの、この分割・独立・離脱の主要な経緯について300字以内で述べよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ

(2005年 京都大学)

近現代の中東地域にはオスマン帝国(トルコ)とイランのカージャール朝がありましたが、これらが弱体化し、列強の圧力をうけて衰退していきます。特にオスマン帝国は19世紀になるとナショナリズムが盛り上がりバルカン半島をはじめ、様々な地域で独立運動がおこり、そこにイギリスとロシアが進出を企てて東方問題となります。トルコは政治的にも経済的にもぼろぼろになっていきますね。政体の変化を中心とするトルコの近代化は京都大学で1999年に出題されていますので、そちらも確認しておいてください。文章化しなくていいので構想メモを作ってみてくださいね。ではチャレンジおまちしています。